令和5年１０月１１日　賛成討論

自民党　政調会長を務めます大和勲でございます。会派を代表して、議第8号議案「自衛隊の抜本的な処遇改善及び生活勤務環境改善を求める意見書」について、賛成の立場から討論を行います。

　昨年１１月６日東京の自民党本部において北海道・東北ブロック・関東ブロック政務調査会長会議が開催され、参加してきました。光一政調会長から、国民の生命・財産を守る安全保障の観点から、地元の自衛隊施設を地方議員が視察し、現状の課題を挙げてもらいたいとの依頼がありました。そこで、改選後の今年６月１９日　自民党県議団で相馬原駐屯地を視察してきました。備品を管理する倉庫は大変古く、大きな地震が来れば倒れそうな建物でした。また、自衛官の宿泊棟は、大部屋でプライバシーの確保もままならない状況でした。洗濯水を流す排管は、トイレの排管を利用するような環境でした。また、９月には自衛官の勤務及び各種手当の実態について、意見交換の場を設けました。令和５年度版の防衛白書では、自衛隊の下位の階級にあたる「士」の充足率は７６％と低調との説明がありました。また、自衛官の俸給基本構造や各種手当も説明がありましたが、命を懸けて任務するには、大変厳しい状況と理解出来ました。

　有事の際に国民の生命・財産を守り抜くためには、自衛官の人員確保は喫緊の課題であります。ついては、自衛官が能力をいかんなく発揮することが出来るよう、給与や手当について抜本的な見直しを行い、大幅な処遇改善の実現とともに、隊舎・宿舎の更新、生活勤務環境の改善を国に求めることに大いに賛意を表す次第であります。よって、当該議案に賛成し、私の賛成討論といたします。